

エムエスピーの履歴書

水谷政司 ②②

本社移転も済みました1996年(平成8年)のシステム更改に合わせて登録システムも大きな変更を迎えることとなりました。

OCR シートの用

紙サイズをA4版へ変更すると発表され、A4への移行に合わせ、JIS 第一水準文字が中心であった活字OCRに第二水準文字が追加されることとなりました。

併せて、ナンバープレートに表記されていた二桁の分類番号が登録の多さに合わせて三桁に変更となりました。

また、少し後の1999年(平成11年)からナンバープレートに自動付与されていた一連の番号から、購入者が希望の番号を選べる希望番号制度がスタートしたのもこの時代からです。

『パソコンシステムが認知される』

オフコンは高級でパソコンは？が逆転する時代の到来

また、車の購入がしやすいように『低燃費車への税制優遇』が提唱されたのもこの時でした。MOTASのシステム更改に合わせて色々なサービスが付与されることは消費者にとって車

の購入がしやすくなりますが、システムの提供者にとつては大きな改造であったり新しい考え方の提供であったりと技術革新が進んだ時代が始まってきていました。平成8年の登録車、軽自動車合わせた登録・届出台数が700万

台を超えるなど、活況を呈した時代でもありました。この時代にMSPとしてはWEBを利用したシステムの提供を始めます。具体的には、希望番号の申込をWEBでも可能とし、自動車ディーラーから自販連に対して

インターネットを利用した申込が可能となるシステムの提供でした。当時、FAX利用がまだまだ中心だった時代だけに画期的な



システムを提供することとなりました。

このころからシステム構築に関しても大きな変化が現れます。

ハードウェアに関しては、インテルからペンティアムが発売されたり、レーザープリンタで

は3段カセットが発売されたり、オフコンが消滅しサーバーシステムに変わったりと激動の時期でした。ウインドウズも32ビットの95が発売され、サーバーも専用のNTが提供されるなどオフコンでなくてはいけなかった潮流が、パソコンのシステムで全然問題がないとの利用者の認識の大きな変化が現れました。パソコンを利用していった支部からの高評価も相まって、オフコン利用支部からの機種変更依頼がだんだん多く寄せられてき始めた時代が始まりました。

(エムエスピー相談役)